

専任教員の教育・研究業績

所属 体育学部	職名 准教授	氏名 友金 明香	大学院における研究 指導担当資格の有無	無		
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概 要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
2 作成した教科書、教材、参考書						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
4 その他教育活動上特記すべき事項						
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁~終頁	発行所	発行地	発行年月	
健康運動指導士試験要点整理と実践問題	監修:稲次潤子/編集上岡尚代, 野田哲由, 田辺達磨	171頁~192頁(分担執筆)	文光堂	東京都	平成30年2月	
第2版健康運動指導士試験要点整理と実践問題	監修:稲次潤子/編集上岡尚代, 野田哲由, 田辺達磨	177頁~198頁(分担執筆)	文光堂	東京都	令和 1年8月	
第3版健康運動指導士試験要点整理と実践問題	監修:稲次潤子/編集上岡尚代, 野田哲由, 田辺達磨	177頁~199頁(分担執筆)	文光堂	東京都	令和 2年9月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等を含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
漸増負荷試験を用いた間欠的等尺性膝関節伸張運動における運動持続時間と筋酸素消費量との関連	光岡かおり, ◎友金明香	至学館大学紀要	49	7頁~14頁	平成27年7月	
アクティブな女子中学生における運動中の最大脂肪酸化量	高橋篤志, 池島明子, ◎友金明香, 豊岡示朗	大阪総合保育大学紀要	10	55頁~61頁	平成28年3月	
「体力若返り講座」の効果検証—健康維持・増進における高齢者の自立を目指して—	◎友金明香, 前島悦子, 奥村友香, 熊崎敏真, 三島隆章, 松村新也, 岡村浩嗣, 滝瀬定文, 浜田拓	大阪体育大学紀要	47	55頁~69頁	平成28年3月	
Cognitive function in middle-aged and older adults participating in synchronized swimming-exercise	Etsuko Maeshima, Yuka Okumura, Juri Tatsumi, ◎Sayaka Tomokane, Akiko Ikeshima	The Journal of Physical Therapy Science. Ther. Sci.	29	148頁~151頁	平成29年1月	
透析患者の体力向上運動プログラム	前島悦子, 大谷晴久, 前田めぐみ, 友金明香, 池島明子	腎と透析	88 (4)	505頁~510頁	令和2年4月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁~終頁	発行年月
選択		選択				
選択		選択				
学会発表 (「国際学会」、「国内学会 (一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)						
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名	
国内 (一般演題)	平成28年 3月	ランニング学会	フルマラソン走行中の心拍変動	岡山県	友金明香	

国内(一般演題)	平成28年 3月	ランニング学会	LT・OBLA・12分間走距離とマラソン記録の関係	岡山県	疋田佳奈
国内(一般演題)	平成28年 3月	ランニング学会	12分間走テストを用いた男女マラソンランナーのOBLAスピード(4mmol/L)推定法	岡山県	藤田将弘
国内(シンポ)	平成29年 3月	ランニング学会	アミノバリューランニングクラブ(AVRC)とランニング学会/AVRCにおける研究と実践	福岡県	友金明香
国内(一般演題)	平成29年 9月	日本体力医学会	6ヶ月間の健康づくり教室が中高齢者の体力に及ぼす影響—4年間にわたる講座の成果報告—	愛媛県	友金明香
国内(一般演題)	平成30年 9月	日本体力医学会	地域在住中高齢者の骨密度と体力の関連性に関する横断的研究	福井県	友金明香
国内(一般演題)	平成30年 3月	ランニング学会学会	大学男子長距離選手の競技成績と身体組成の関連性について	茨城県	友金明香
国内(一般演題)	令和 2年 9月	日本体力医学会	健康増進プログラムへの継続参加が地域在宅高齢者の認知機能に与える影響	web	木村範子
国内(一般演題)	令和 3年 9月	日本体力医学会	コロナ禍における地域在宅高齢者の日常生活活動性と身体機能の変化について	web	木村範子

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額(期間内の総額)
選択			選択		
選択			選択		

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国
						例: 日本

### III 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成16年4月～現在に至る	ランニング学会会員
平成16年4月～現在に至る	日本体力医学会会員
平成24年4月～現在に至る	日本体育学会会員
社会的活動	
平成21年 5月～現在に至る	財団法人 健康・体力づくり事業財団健康運動指導士資格
平成26年 4月～現在に至る	ランニング学会 CRIランニング指導員
平成26年 5月～現在に至る	社団法人 日本スロージョギング協会認定 アドバンス資格

### IV 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	
平成〇年〇月～平成〇年〇月	
特別プロジェクト活動	
平成25年 5月～令和 3年12月	地域住民の中高齢者を対象に、健康づくりに関する座学と運動習慣を身に付けるための実技を12回程度実施
平成〇年〇月～平成〇年〇月	

### V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	陸上競技部	2. 役職	2012～コーチ	3. 部員数	人
4. 現場指導の頻度	① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数:	1 回	延べ日数:	4 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
	大阪学生陸上競技対校選手権大会	4月	大阪府		
	関西学生陸上競技対校選手権大会	5月	京都府		
	西日本学生陸上競技対校選手権大会	6月	四国		
	日本学生陸上競技対校選手権大会	9月	京都府		

	関西学生対校駅伝競走大会	11月	京都府
10. クラブ戦績 (全日本選手権 8 位以上、関西選手権 4 位以上、関西 1 部リーグ 3 位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。)			
開催期間	大会名	成績	場所
平成30年 5月	第95回関西学生陸上競技対校選手権大会	男子1部3000mS. C. 優勝	西京極総合運動公園陸上競技場
令和 1年 6月	秩父宮賜杯第72回西日本学生陸上競技対校選手権大会	男子5000m優勝	西京極総合運動公園陸上競技場
令和 3年 6月	2021日本学生陸上競技個人選手権大会	男子800m8位	レモンガスタジアム平塚
令和 3年10月	第98回関西学生陸上競技対校選手権大会	男子1部800m3位	ヤンマーフィールド長居
<b>VI 賞罰 (職務に関する賞罰)</b>			
年 月	受賞等機関名	内 容	備 考